

第24回目の研修内容は、
「薬について」をテーマに講義とグループワークを行いました。

放課後等デイサービスのように主に発達特性を持っているお子様に対する支援を行っている事業所では、ドクターから処方された「薬」を飲んでいるお子様が少なからずいて、日頃の活動や会議や相談を通して「薬」に触れる機会は決して少なくありません。

よく耳にする「薬」といえば、

☑コンサータ

☑ストラテラ

☑インチュニブ

☑エビリファイ

☑リスパダール

などが挙げられます。

「薬」については、ネットなどで調べれば、説明や用量用法などが詳細に書かれており、すぐに詳しく知ることができます。

しかし、

お子様本人や保護者、学校の先生などから

「お薬についてどう思いますか？」

「やっぱり飲んだ方が良いですか？」

「依存症になりませんか？」

「飲むのやめても良いと思いますか？」

「効果があると思いますか？」

等と質問された時に容易く軽い気持ちで答えることはとても危険なことです。

「薬」についての判断は全てドクターの仕事です。

我々素人が絶対に口を挟んではいけません。

では、我々放課後等デイサービスの職員に何が出来るのか？

そこで今回の研修では、「薬」についての勉強と放課後等デイサービスの職員の立場でお子様や保護者様のためにどのような支援が出来るのかをグループワークを通して話し合っていました！

